

# 球磨川水系流域治水協議会

計画：「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに係る令和6年度の取組計画を①②③の別に記入(横断可)

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

## 連携活動

- 河川協力団体と連携した水防災見学会  
(現地視察:1回予定)
- 防災フェスタの開催(八代市:1回予定)
- 緑の流域治水の推進に係る市町村職員向け説明会(市房ダム等)

## 流域治水の広報

- 球磨川水系緊急治水対策プロジェクトの進捗状況の周知(HP上で毎月更新)
- 流域治水プロジェクト等の周知・啓発
  - ・パンフレット、動画、模型、SNS等による周知
  - ・防災イベントにおけるブース出展 等

## 教育活動

- 学校と連携した出前講座
  - 八代河川(1回予定)、川辺砂防(3回予定)、県土木(3回予定)、県復興局(実施予定)、県農林水産部(実施予定) 等
- 上下流交流の推進(下流域住民等による上流域見学等)
- 講演会の実施、市町村訓練を通じた啓発
- 令和2年7月豪雨球磨川水害伝承記からの写真・映像記録の二次利用促進
- 防災教材の貸し出し(立体地図、浸水ドア、流水実験模型等)
- 防災展「土砂災害から守る砂防」(R6.6月上旬~R7.7月上旬)砂防及び防災に関する取り組みを紹介する企画展示
- 市町村の防災訓練等に参加し防災意識向上の啓発(浸水ドア体験、降雨体験)5自治体
- 登録防災士の育成

## リスク情報等の提供

- 会議等を通じた情報発信(水防災意識社会再構築会議 1回予定)
- リアルハザードマップの設置推進
- 自治体毎のタイムライン作成、公表(12自治体)
- 洪水標識(3箇所予定)、非接触式流速計、河川監視カメラ等の設置、更新
- 河川監視カメラ映像や水位情報の発信
- 市房ダム情報発信の強化  
(県防災情報メールやSNS、4色警告灯の活用等)
- 瀬戸石ダム放流量等の情報提供
- 土砂災害警戒区域の周知

## 流域治水への貢献

- 立地適正化計画の作成・公表(八代市)
- 地区防災計画、マイタイムラインの作成支援
- 住民参加型防災訓練の実施支援
- 危機感共有と命を守る災害報道連携会議の開催
- 流域タイムライン検討会の開催(2回予定)
- コミュニティタイムライン検討会(人吉市:3回予定)
- 流域治水モデル河川の取組
  - ・人吉右岸地区検討会(3回予定)
- 民間団体と連携した雨庭整備の推進、田んぼダムの取組みの普及
- 自主運営避難所の登録推進

## 流域対策への支援

- 球磨川流域復興基金を活用した災害リスクの低い場所への移転や安全対策、市町村等への雨庭整備に対する支援など、防災・減災対策等を支援

### ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

### ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

### ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p><b>① 知る機会を増やす</b></p> <p>◎流域治水の広報   地域   個人   企業・団体  </p> <p>◎連携活動   団体   学校  </p>		<p>河川協力団体との連携（見学会） ●</p> <p>緑の流域治水の推進に係る市町村職員向け説明会 ●</p> <p>防災フェスタ ●</p>	<p>上流域見学会 ●</p>	
<p><b>② 自分事と捉えることを促す</b></p> <p>◎リスク情報等の提供   地域   個人   企業・団体  </p> <p>◎教育活動   地域   個人  </p>	<p>水防災意識社会再構築会議 ●</p> <p>市房ダム情報発信の強化 ●</p>	<p>防災に関する講演会 ●</p>	<p>水位計更新・非接触式流速計の設置 ●</p>	<p>洪水標識の設置 ●</p>
<p><b>③ 行動を誘発する</b></p> <p>◎流域対策への貢献   地域   個人   企業・団体  </p> <p>◎流域対策の支援   地域   個人   企業・団体  </p>	<p>コミュニティタイムライン検討会 ●</p> <p>流域治水モデル ●</p> <p>河川検討会 ●</p>	<p>流域タイムライン検討会 ●</p>	<p>流域タイムライン検討会 ●</p>	